

常任委員会視察研修報告
総務産建・民生文教

平成28年9月26日(月)～27日(火)

長野県下條村
 人口 3,891人
 面積 38.12 km²

長野県下諏訪町
 人口 2万786人
 面積 66.87 km²



財政改革の「奇跡の村」を視察
 (長野県下條村)

意識改革に始まって、意識改革に終わった研修でした。

伊藤前村長の強いリーダーシップにより、「隗かより始めよ」という言葉どおり、職員の意識改革が徹底して行われた。コスト意識・競争原理を強力に推進するため、飯田市内のホームセンターで接客や販売の研修を職員に行わせ、さらには徹底した職員の削減を進め59人いた職員を37人に削減した。次に、行政がやるべきものと、地域の皆さんでやってもらうものを明確に区分し、道路工事の建設資材支給事業が進められ、経費削減や地域コミュニティも図ら



下條村役場の視察

れ、村民の意識も変わってきたと考えます。これらの施策が相まって、財政力指数が0.2しかない村が、徹底した意識改革や財政改革の取り組みから「奇跡の村」とさえ呼ばれてきました。

当町において、下條村での施策のうち困難なものもあるが、徹底した意識改革を進める余地は多分にあると考えます。

保育園の統廃合は

住民説明を最優先に!
 (長野県下諏訪町)

下諏訪町の保育園の歴史は古く、第1保育園が誕生したのは大正15年でした。

町の製糸業が全盛期を迎え、製糸業に従事する母親のために、下諏訪町幼児保育会が誕生し開園された「下諏訪町幼児保育園」が前身です。その後、園児数の増加に伴って保育園が建設され、昭和53年には第8保育園が完成しました。しかしながら、だんだんと少子化が進み、平成18年に民間の有識者の皆さんに参加していただき、「保育園あり方検討会」を設置し、これからの保育園の形態・方向性等を検討し、平成23年度から名称も新たに、3園体制でスタートしました。

安八町における保育園の統廃合は、安八町第五次総合計画でも最重要課題として、住民(保護者)への説明や統廃合への理解、周知を徹底し、計画がスムーズに進められるように考えていきます。



保育園の統廃合について説明を受けました